

★三姉妹港港湾セミナー記念座談会★

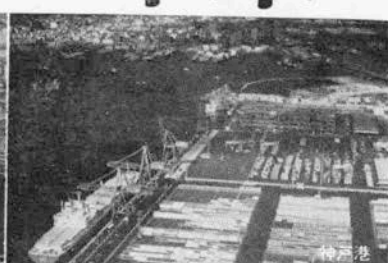
輸送革命と港の未来



ロッテルダム港



シアトル港



神戸港

□出席者□

W・トマスン〈ロッテルダム市長〉／ウェスレイ・C・ウールマン〈シアトル市長〉／H・J・フィールセン〈ロッテルダム助役〉／フランク・R・キツェル〈シアトル港港湾委員〉／宮崎辰雄〈神戸市長〉

★意義深い姉妹港セミナー

最初に、今年で第四回目を迎えました、シアトル、ロッテルダム、神戸の三姉妹港セミナーの意義について宮崎神戸市長からお話をお伺いしたのですが。

宮崎市長 港というのは、一つの港が整備されても、それに対応する他の港が整備されなければ効果を発揮することができないわけです。

それはあたかも鉄道で、神戸にステーションがあっても東京にステーションがなければ列車が停まることのできないのと同じように、特に海の場合には寄港する場所がなければどうにもならないということです。

そういうことで、たまたまシアトルとロッテルダムと神戸の三港が姉妹港になったわけで、この三港の間で港の整備を考えて、そしてお互いに話し合い、貨物の増大、輸送の効率化、そういったものを考えていこうじゃないかということでのこのセミナーを始めたわけです。

時たまたま、海上輸送の革新というような問題が出てきて、とくに今日も非常に議論がでていました「コンテナ化」ということが起ってきまして、それ以外にロール・オン・オフとかラッシュとか、今後いろいろな輸送の変化が起ってくるわけですが、そういうことを考える時にも各港の間でよく討議して、お互いによりよい港をつくり、貨物輸送の合理化をはかりたいという、こういう気持ちがこの会議をつくらせた原因だと思っています。

トマスン市長 今、宮崎市長がおっしゃったことに私もまったく同感です。

今日のいろいろなディスカッションをお聞きになってもおわかりのように、たとえばシアトルの吉岡さんが「コンテナ化」というのはまだまだ未発達な段階だとお話になりましたが、それは今後技術的な面でいろいろと発展させる余地が多分に残っていることだと思っています。ということはまだまだ学びとれるものがあるということです。

それで、たとえば姉妹港関係というのが、神戸が仮に



W・トマス・ロッテルダム市長

お姉さんだとすれば、シアトルはいわば義理の妹さんになる感じですが、いずれにしても姉妹港という関係をもつことによってお互いにオープンな気持ちで話合う機会をもつことは非常に意義深いことです。

それから、神戸の貨物取扱量が年に六千万トンだったのが、一億一千四百万トンと、二倍以上に増えるという大変な発達を上げたわけですが、それは今日世界でも二番目、日本でも横浜を凌駕するという発展ぶりです。

しかし先程申しましたように、まだまだ技術的な面では今後ますます発展させなければならぬ点がありますし、したがって、くり返して申しますが、この姉妹港という関係でお互いにオープンな気持ちで協力し、学びあっていくというのは大変意味があるんじゃないかと私は思

うわけです。

キツチエル氏 私は、このセミナーの成果は要約すると三つになると思います。

まず第一に、関係者が直接自分で相手の港を訪門し、自分でいろいろな港湾施設を見るということ、これが非常に意義のあることだと思います。

二番目に、そういう港湾の関係者が直接顔と顔をつき合わせて話合い、その話合いの中から何かを学びとること。それから自分の目で、自分が知っていることを相手に教えてあげることができることです。

三番目に、いろいろな分野の人たちが集って港について話合うことができること。

たとえば、ここにシアトル市長さんがおられますが、

市長部局と港湾委員会というのは常に緊密な関係をもっています。これ以外にいろんな関係の人が集って港について学ぶことができるのが、非常に意義深いことです。

このセミナーの成果についていいますと、ロッテルダム、神戸、シアトルのそれぞれの港が発展をつづけているわけですがその発展の中にこのセミナーを通じて学びとられたものが、いろいろな形でたくさん蓄積しているものと思います。

ウィルマン市長 とにかく再三いわれてきましたように輸送界における革命というのは、せんじつめれば「コンテナ化」ということになりましたが、このためにいろいろなことが変わってきてるわけです。

たとえばコンテナ化された港を持つ都市と、そうで

ない都市とではそこに住む人にとっては非常に大きな違いがでてきます。というのは、コンテナ化された港やそのための設備をつくるためには大変な投資をしなければならぬからです。納税者の側からするとそれは大変大きな負担になる。

投資する対象は、たとえばコンテナ基地をつくるためには大変多くの土地を必要とします。土地の問題はおそらく日本が一番苦勞されているでしょうが（笑）市としても市民としてもそのために大変な投資をしなくてはならない。こういったことに加えて、都市に住む人たちがどういうことに優先権をおくかということについての考え方がまた変わってきているわけです。

たとえば、漠然と「環境問題」というふうに我々はい



フランク・Ｒ・キッチェル氏



ウェスレイ・C・ウールマン・シアトル市長

いがちですが、これをもうちょっと細かくいえば、「大気汚染」「水の汚染」などがありますが、こういったことに一方ではみんなが注目してきています。

ですから、シアトルの側からいえばロッテルダムなり神戸がそういう問題についてどういう取りくみ方をしていいるか、どういうふうに解決していこうとしているかを学ぶことは私達にとっては非常に役に立つし、また逆の場合もいえるのではないのでしょうか。

姉妹港がそういった意味で学びあうということは意義深いことですし、こういったことは単にシアトルだけの問題ではなく、また米国という一国だけの問題でもなくまさに地球全体の問題として考えていかなければならないことだといえます。

ですからこういう会議は大変意義深いし、今後必要に応じてこういう会議を続けていくべきだと私は確信しております。

フィールセン氏 私の考えもトマスン市長やウールマン市長と同じ意見なんです、その中でもとくに私が重要に思いますのは、市庁という行政機関の立場からいたしますと、両面の機能をもっているわけです。

片方では港の使用とか管理の面からいろんな計画を進めていくわけですが、その反面、そこに住む市民の環境問題というものにも気を配らなければならない。ですから当局者同志がいろいろな情報を交換できるということは誠に貴重な機会だと思います。

たとえば、一つの例は先程神戸の水野さんが、今後何

年か後に輸送形態がどんな形になっていくかわからないとおっしゃいましたが、私達当局としては何年後にどうなるかという一応の見通しをたて、それに対応した措置をとらないといけないわけです。と同時に、ユーザーの側、すなわち船主とか荷主とかいう方たちはお役所の方がどんなプランをたてているか知らないといけない。そういう意味でこの話合いはお互いに意見の交換ができたいい例だと思います。

★神戸は人口密度の高い街

——神戸の街の印象はいかがですか？

トマスン市長 人口密度からみるとたしかに日本は高い

のですが、数字だけをみると一平方キロあたりの人口というのはオランダの方が高い。

しかし日本は山が多いし全部が利用されていないので、日本の場合は一平方キロあたりの数字が示すよりも

実際の密度はより高いんじゃないでしょうか。

それを如実に示しているのが神戸じゃないかと思えます。裏に山があつて、港に多くの人が密集していますからね（笑）

それから私は三年前に一度来たことがあるのですが、特に感じましたのは、交通規制がよくいきとどいていてということですね。ですから、もし機会があればこちらの交通担当の方に、どんな計画をたて、どういうにふう実行されているのか一度お聞きしたいと思っています（笑）



宮崎辰雄 神戸市長

それから一昨日、ミスター・デフィリースさんという神戸のオランダ総領事さんのお宅へ私達一行招かれていたのですが、そこは見晴しいし、景色はいいので私達はオランダの家とこの家とを取りかえたいと思っただけでした。

そのあとデフィリースさんのうちから市立南蛮美術館へ二、三〇分程歩いていったのですが、やはり実際自分で歩くことによって神戸の街というものが肌で感じられました。

それからもう一つ申し上げたいのは、神戸とロッテルダムとは大きな違いがあるんです。

それはロッテルダムの場合は、人が住んでいる地域と港とが三五キロぐらい離れているということです。

ということは、都市に住んでいる人は港の開発の状態を見ることができないんです。

ところが神戸の場合は人が住んでいる所と港とは密着している。たとえば昨夜六甲山頂の素晴らしいレストランにお招きいただいたんですが、あそこから見たパノラマというのは実に素晴らしいし、神戸の開発の状態が大変よくわかる。ですから神戸市民が、港が発展していく状態をまのあたりに見られるということは、私達から見ると羨ましく思えます。

ウールマン市長 私は今まで三回神戸にきたことがありますが、一回目はごく数時間だけでした。というのは、神戸に着くとすぐシアトルの方から、学生騒動があったのですぐ帰るようという緊急連絡があり、すぐ神戸を離れました。二回目はかなり長く滞在でき、市長さんを始め神戸の皆さんから手厚い歓迎をうけました。

今回の訪問は三回目ですが、考えてみますと神戸とシアトルはよく似ていると思います。

ロッテルダムと神戸の場合とは違って、シアトルと神戸とは地形的に非常によく似ている。そういう点で私は神戸に非常な親近感をもっていて、あたかも神戸が第二の故郷だという感じすらします。

キツチエル氏 私は何回も神戸にはきていますがそのたびに神戸については素晴らしい印象をもっています。

それは街がきれいだということが、そして市民が大変清潔な感じを与えるということです。

それから神戸は大規模なプロジェクトばかり進めていますので、将来日本で最も重要な都市になるんじゃないかと思っています。

★素晴しかった神戸まつりのパレード

——神戸まつりに参加されたご感想は？

トマスン市長 私達は神戸まつりのパレードに参加し、オープニングのところだけ拝見して他の所に行ったのですが、その帰りに五時頃近所を通りかかるとまだパレードがつづいていました。

ということは、大変大きなお祭りだということがわかりましたし、いかに多くの市民の支持があるかということとをまのあたりに拝見したわけです。

あれだけの市民を動員できるということは大変なことですが、私達の国ではたとえ女王さまの誕生日でもあれだけの人間を一同に集めるということはできないんじゃないかと思えます（笑）

それにパレード自体がカラフルで、陽気で、楽しくて私達オランダからきたものはみな感心してしまいました。特に私の印象に残ったのは一五〇〇人ほどの婦人会の方たちの踊りです。子供たちの踊りや犬の参加も楽しかったし、特に犬のパレードのあと、一人のおばさんが犬の糞をちゃんとひろってバスケットに入れておられるのに感心しました。もしどなたかあの場面の写真をとられた方がありましたら、ぜひ一枚わけていただきたいのですが（笑）

キツチエル氏 パレードに参加している人も、見物人も両方とも大変楽しくパレードを楽しんでいたようですね。私もシアトルフェア、ニューオリンズのマル・ディ

グラなどいろんなパレードを見ましたが、神戸のパレードが一番おもしろいと思いました。

それはパレードの時間が長いことと参加している人の数が多いということです。シアトルのパレードは車にのせて通るというのが多いんですが、こちらのパレードはほとんど車に乗らないでみんなが歩いて通るといのが非常にいい印象をうけました。

宮崎市長　今まで神戸の印象をはじめ、いろいろなことを伺いして、私自身が気がつかなかったことをいろいろと教えていただいた気がします。

日本の市長というのは忙しすぎて、時によればスケジュールを二重、三重ぐらいこなしたり、一日に人に三〇人も五〇人も会ったりしますのので、つい自分で町をみる時間を失くして自分の町を自分で知らないということが非常に多いんです。

先程トマスンさんが、日本は大変人口密度が高く、その姿が神戸にもあらわれているとおっしゃいましたが、まさにその通りで、日本の面積の一五%が平地で八五%が山なんです。

ところが神戸がほぼそれと同じパーセントで、神戸には特に一〇%の平地部に九〇%の人達が住んでいます。

それから交通の問題も日本は大変後進性がある、昔、長い間殿様が日本を治めていた頃、他所から攻められないために町の道をできるだけ曲くねって細くつくったんです。

それを近代的な町につくりかえないといけないという



三市長を囲んでのなごやかな話合い。

ので、今日本は大変なことをやっているわけです。ですから一年経てば街の様相が変わるということはたくさんあります。

それから、キツチエルさんから、神戸は大きなプロジェクトをやっているというお話がありました、実際にやらなければ神戸の進歩がないわけです。

今ポートアイランドをつくっていますが、これは前の原口市長の時代からで、私の時代になってからも、裏甲に建設されつつあるニュータウンと市街地を結ぶために六甲山をぶちぬいて日本でも一番長いトンネルを昨年から掘りかけています。

最後に祭りの話がでしたが、以前あった二つの祭りを一つに統合したんです。

そうしましたら市民もそれに非常に関心を示して、今度のパレードは出場人員が約一万人、見物人が六〇万人で、神戸の市民の半分がそこに集まったということになり、非常にうまくいきました。

その他いろいろ面白いお話をお伺いし、私自身も大変嬉しく思っております。今後もうこういったセミナーを通じて、よりよい港づくり、都市づくりに努力していきたいと思っています。

〈オリエンタルホテルにて／文責・編集部〉

*

*

経済ポケット ジャーナル



★第四回姉妹港セミナー 開催

姉妹提携している神戸・シアトル・ロッテルダム
の「第四回港湾セミナー」が五月二十一日～二十五日の五日間、オリエンタルホテ



姉妹港セミナー風景

ルで開かれた。
ロッテルダムからはW・トマス市長ら二十四人、シアトルからウェスレイ・Cウルマン市長ら四十三人が来日。

二十一日は午前中、第二回神戸まつりのパレードに有志が参加、二十二日は県知事、市長らを公式訪問、

さんちか広場の姉妹港展や市内見学、レセプション。

二十三日は三港の代表が「北西ヨーロッパ港湾の開発とその重要性」(S・A・ボシューマス・ロッテルダム全国港湾諮問委員長)

「神戸港を中心とした日本の大港湾の重要性」(宮崎辰雄神戸市長)「北アメリカ西岸の諸港湾」(フランク・R・キツチエルシアトル港湾委員長)と、それぞれ講演。同日午後から二十四日にかけてはセミナーで①コンテナ輸送の開発とコンテナ港の経済性②輸送革新に対応したふ頭運営のあり方③港湾財政の現況と将来をテーマに熱心な討論が行なわれ、海上輸送革命に対する港の在り方が各方面から論ぜられた。

★72年版「花時計からの報告」発行

神戸市政白書「花時計からの報告」の一九七二年版がこのほど神戸市企画局から発行された。

★KOBE オフィスレディ★



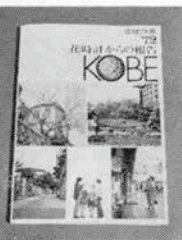
間蔵 功子 (29)

560 KHzラジオ関西受付勤務

投稿魔の異名をもつ彼女、自分の一生の仕事として童話を書いてゆきたいという。野山を歩いている時、ふと夢が現実かわからなくなる。そこに言葉が生まれ、詩が生まれる。ある時彼女、汽車ポッポが見たくて信州清原に行った。レールにお耳ひっつけて
汽車ポッポ きたよ うれしいな

須磨区在住 神戸野田高校卒

基本的な政策にかかわる関
西新国際空港や老人医療など八項目についてくわしく説明してある。
創刊号の七一年版がA5判、四百六十ページを越す「学術的」な体裁だったのに比べ、今年度の白書は体裁だけでなく、内容も中学生が読んでも理解できるように表現も工夫されており、カラー図表もふんだん



'72神戸市政白書

今年の市政白書は週刊誌大のB五判で二百四十頁。内容は二部構成で一部は公害、住宅、消費生活、交通、保育所などを七十一項目に分けてその現状を説明、二部は市政のなかでもとくに

に取り入れられている。発行部数は六千部で書店で発売されている。

★石野証券が新社屋へ移転
大丸神戸店前に本社があった石野証券が、四月二十二日より栄町通一丁目の新社屋に移転した。大丸前の本社と播磨町の神戸東営業所が一つにまとまって移転したもので社屋は鉄筋コンクリート造地下一階、地上四階、一階は営業場、二階社長室、総務室、三階経理、役員室、応接室、四階食堂、娯楽室となっている。



石野証券新社屋

所在地 神戸市生田区栄町通一丁目八の二
TEL 391・0001 (代)

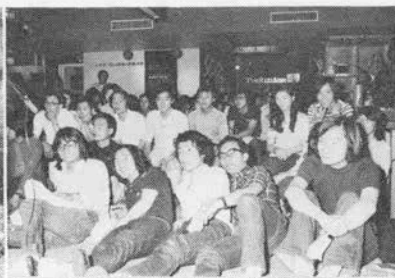


●若もののひろば／京町テクニクスプラザ

KyomachiTechnics Plaza

★神戸ナショナルショールーム 生田区京町Tel.391-8011

●若もののひろば「はじまり／はじまり」7月のプログラムごあんない



▲KCCフォークコンサート開く(6/10) 集った関学・甲南大・神戸女学院大・山手短大生 京町DJ〈神戸の女・男〉はじまり!(6/10)

●7月のプログラム

7/7 P.M.4-7時

可無落下上座

★お前様が参加する
☆ディスクジョッキー
☆網蛇くじ大会
楽しく遊んでおみやげ付
☆手造りアクセサリー類説
明と即売会

★楽隊
無法者達
山崎浩平と風流近代即興音
楽四重奏団放音組・その他
司会 武内スミ子
企画 KOHEIと
その一味達

7/8 土 P.M.4-6時

京町DJ(デートの前に)

●京町OL
サラリーマン談義

7/15 土 神戸学院大生

生による

P.M.4:00-5:00

(再起不能コンサート)

・商とそのグループ

・ロータリークーベ

・1回生女子

●京町ヤング寄席

神学亭文鳥(せんざい公社)

淡路家府絵利(不精の代参)

人丸亭遊泉(牛 ほ め)

ボルノ落語

垂水家漫太郎(茶づけ間男)

P.M.5:00-6:00

7/22 土 P.M.4-6時

京町DJ(デートの前に)

●おしゃべりジャーナル

大学対抗戦

(学生自慢校生自慢)

手軽な洋裁教室

マーガレットスタジオがは
じまります。

●手持ちの夏布を簡単に
手づくりできるミニ講座です。

毎週土曜日

午後1時-4時迄

コーチ/藤本ハルミ

〈デザイナー〉

月謝 ¥ 2,000 お早くお申

込みを!入会金 ¥ 500

7/29 土 P.M.1-4時

●会員募集

月1回 第4土曜日

連続3回 会費 ¥ 1,000

P.M.1:00-4:00

京町ファッションミニ講座

第1回 ビューティクリエ

イト夏への変身

(貴女自身が参加するファ

ッションミニ講座)

第1部 美しくチャーミン

グな歩き方

講師/舟木加代

(KMFファッションモデル)

第2部 季節美容

お肌のトラブルについて

講師/池永祥子

・冷房に対して

・ヘアー

・手足ボディ

第3部 個性的な貴女を演

出する

講 師

藤本ハルミ(デザイナー)

プレタポルテのユーリーネイト

ビューティクリエイト

ビューティトレーニング グサロン

●美しいボディにストレス解消に

毎週土曜日(月4回)午前10-12時

・金曜日(月4回)午前10-12時

月謝 ¥ 1,500 入会金 ¥ 500

●OLのために

毎週土曜日 午後1-2時30分

月謝1ヵ月 ¥ 1,000入会金 ¥ 500

コーチ/山川祥子

(上月倫子/バレエ研究所)

アシスタント/ペアトリスニート

・ハウゼン



●神戸ナショナルショールームを無料で開放・われと思わん若ものはステキな企画を月刊神戸っ子まで (221) 7 0 3 7



呉井陳 磯 みよーや

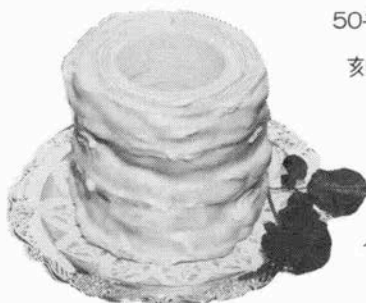
神戸店 大丸前
電話 神戸 (331) 331 321
大阪店 阪神百貨店 三階
電話 大阪 (345) 九五八四番
姫路店 やまとやしき百貨店 四階
電話 姫路 (23) 一二二二番

自然の味を求めて50年!

この伝統をさらに前進させる《人》。
自然を大切にし、愛する 《心》。
天然の《材料》ひとすじに歩んだ半世紀。

ドイツ菓子ユーハイムは
ドイツのもつこの気質をかたくなまでに
守りつづけています。

50年の伝統を
刻んだ



ユーハイムの
バウムクーヘン

本店 三宮 生田神社前
TEL (331) 1694
三宮店 三宮大丸前旧市電筋
TEL (331) 2101
さんちか店 さんちか
スイーツタウン
TEL (391) 3539
心斎橋店
TEL 06 (252) 0925

ドイツ菓子
Fuehrheim's
ユーハイム

"音"による

工事管理

諸岡 博 熊

△阪神外資埠頭公園工務部長▽

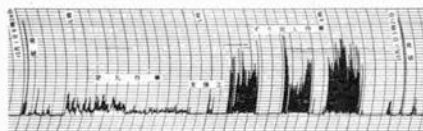
第二次世界大戦中、イギリスは、ドーバー海峡に面するドーバー海底トンネル試堀坑のなかで、音波探知器を使用してドイツ軍がトンネルによる「もぐら戦術」を行なわないかと聴取していたことは皆様、ご承知の事実。これはまさに、医者の聴診器を土木に応用したもののだが、このたび日本のK建設もこれに似た方法で、トンネルの作業管理を始めた。

工業用テレビや誘導無線・レーザ―その他を作業現場の湿度や温度条件の悪いところに配置して、トンネル作業を監視し管理することは不可能ではないが、このような条件のところに、精度を要求される電子機器を設備することは、複雑な機器の保全や工事の経済性などの点から具体化がやや遅れている。トンネル工事は他の工事と違って、限られた空間を全作業が共通して使用するところに問題があるからである。たとえばハッパをかける、ズリを排出する型枠や支保工材を搬入する。コンクリー

ト充填後は不要資材を搬出する。……その間に作業員が定期的に出入坑する。すなわち、部分の作業が全体のプロジェクトに綿密に結びついているので、一部に障害が生じると、そのたびに、作業系統が分断される。したがって、作業指揮者や工事管理者の総合的な判断によって、正しい管理システムに戻すべく異常な事態を早急に解決するよう末端にまでその意志を伝達しなければならぬ必要が生ずる。

× × ×

トンネル工事は、ますます長大化の傾向であり、工事における施工速度の増加、省力化、安全性が追求される。しかし、どんなに合理化された機械設備や熟練労働力を投入しても、トンネル工事のボイントともいえる「ハッパ後のズリ排除のタイミング」が、その前



トンネル作業状況記録事例

このグラフの見方・10月1日3時21分にハッパがありつぎに6時24分にハッパがあった。この間に穿孔作業約49分、ズリ出し時間73分ということがわかる。これが予定計画どおりであるか、坑外で坑内作業の監視が可能というもの。

後の作業と効果的にマッチしないと作業の能率向上は望めなくなると。坑内の状況を電子機器などで直接的に把握することが、現地の条件からみて困難であるならば、医者の聴診器よろしく、山腹に聴診器をあてて、なかの作業を監視したことになる。

× × ×

この目的のため開発されたものが「作業モニター」である。聴診器をマイクローフオンに代えて、坑内に置きその作業音を記録し、音圧レベルやその記録波形から作業状況を管理しようとするものである。坑外の作業監視所に、作業音記録計を置き各種作業音波形を分析し解析する。作業音はそれぞれ個々のパターンがあるので、それによって、作業場所のサイクル・タイム、個々の作業時間、ハッパ時間などを複雑チャンネル上にリアルタイムオンラインで表示することによって、作業実態を正しく把握でき、工程管理が容易となる。さらには、各作業の改善や新たな計画も行なうことができる。電算とトンネル工事施工プログラムの組み合わせによって、モニターによる作業管理システムは完成する。このような音による工事管理は今後、土木、建築さらには海洋開発工事にまで応用されることとなるだろう。

神戸のアーバンデザイン
街とモニュメント

水谷頌介＋チーム・UR

⑥4

☆神戸の街をかたちどってきた山と海、そして、その交流の上につみ重ねられてきた歴史のドラマ、という観点から、街のモニュメントを取り出してみましょう。

まず、眼に入ってくるのは、市章山に輝く市章のマークです。まさに、神戸の成り立ちすべてをあらわしているといえるでしょう。

次は、このイカリそのものの歴史、港の灯台です。和田岬灯台は、いま、そのつとめを終えて、須磨の海岸に設置されています。

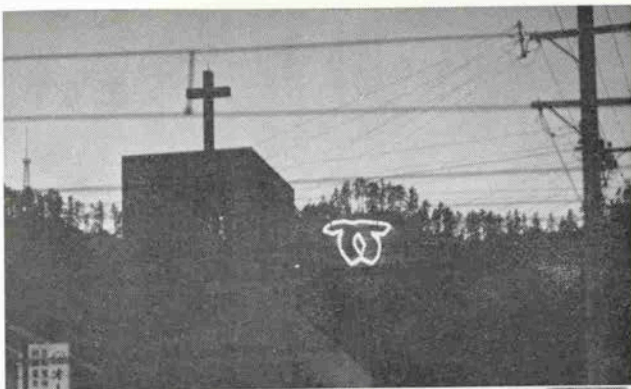
近代以前の歴史ということになると、何といても、楠公さん、湊川公園のお馬に乗った勇ましい姿だと思うのですが、いささか古い思い出にすぎるでしょうか。いまは、ビルに囲まれて、改装なった湊川公園の新しい台座におさまっています。

楠公さんは、いわゆる英雄、それに対して民衆の生活史のなかからということで、お宮さんの鳥居をとり出してみました。代表として長田神社の石の鳥居です。この鳥居は、現在でも生きていて、門前町たる長田商店街のシンボルになって、ショッピングセンターという生活の場のなかにすわり続けています。

お宮さんの鳥居は、もちろん、市街化が進行していない北神、西神地域にも存在しています。山かげの森と一体となって農村風景の点景として生きつづけているわけですが、市街化に平行して、今後どうこれらを位置づけていくか、一考を要するところです。これは、といういい実例はまだ見あたりません。

街の形成と切っても切れないもの——建物としてのモニュメントを次回にはいくつか選び出してみたいと思います。〈水谷頌介〉

左・港の歴史を見てきた和田岬灯台
・ミナト神戸の市章マーク



上左・湊川公園・楠正成の銅像
左・民衆の生活史から生まれた長田神社鳥居



街とか歴史とかという大きい観点からではなくて、生活の身のまわりから、モニュメントというものをとらえ直してみたいと思います。勉強机の上の置物、鏡台の上の思い出の民芸、応接間や床の間の飾り物・生花といった住宅のなかのモニュメントからはじまって、庭の灯籠、置石、水鉢、植木といった具合にひろがっていきます。

住宅から外へ出て、街角に立つと、かつては、路地の共同の井戸、お地蔵さん、火の見ヤグラなどが密接につながっていたわけです。いまでは、公園の水飲み場・噴水、交通事故の供養塔、学校の時計塔といった機能でしょうか。

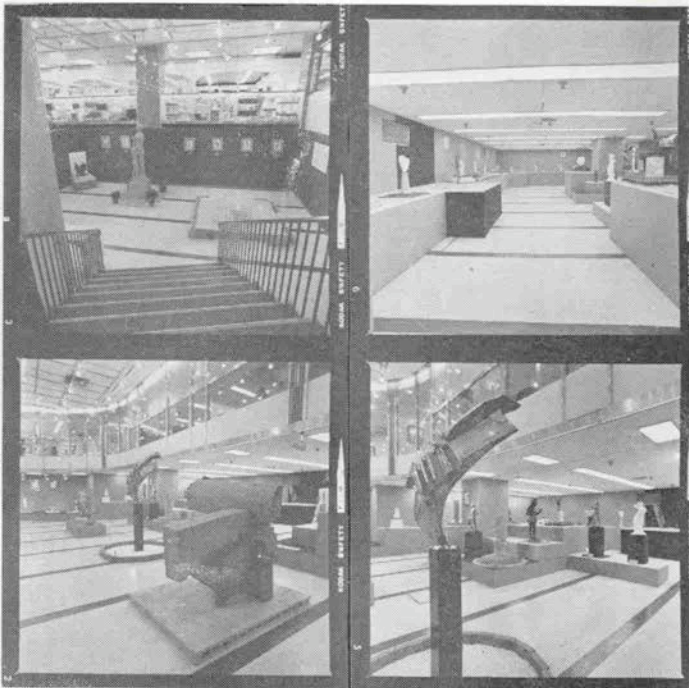
これらは、生活の必要性、うるおい、精神性といったものから生まれてきたものです。また、自分達の中で時間をかけて、つくりあげてきたものや、街の人々の願いをうけてそれにこたえるべく職人の人々が腕をふるってつくりあげてきたものです。

ヨーロッパの街などの例に見ならって、街角に彫刻を、ということが最近よく実行されます。

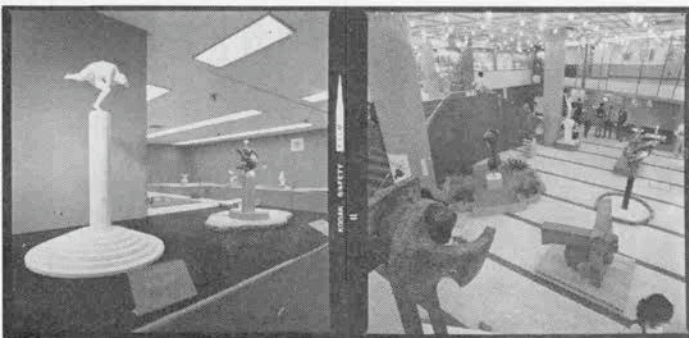
個人の生活の場——住宅が狭くなり、庭もなくなったので、生活のモニュメントを共同の場で、ということでしょうか。

しかし、そのモニュメントとしての生まれ方、つくられ方が、昔のものと基本的に違うために、必然性が感じられないし、夫々のモニュメントの形や意味が理解されにくいと思うのですが……。

〈水谷顕介〉



さんちか広場で開かれたエスキース展より

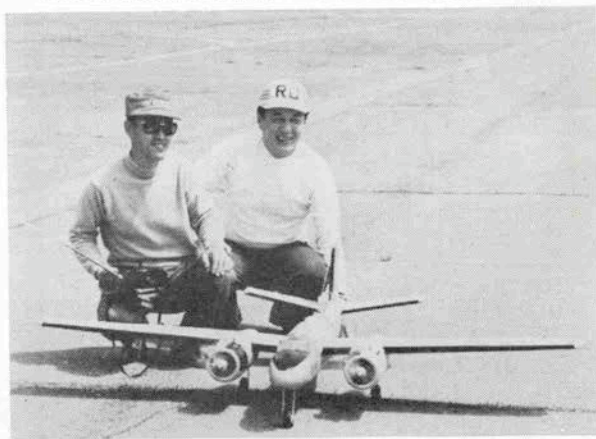


神戸遊戯誌106



▲新進作家時代の稲垣足穂氏（大正10年頃、「青春と冒険」より）

▼ここまで進歩した模型飛行機、ロータリーエンジンを搭載している。



模型飛行機① 青木 重雄

★初期の思い出とコーチ役の進駐軍兵士

大空をビュン、ビュン、うなりをあげて飛ぶ模型飛行機、その行くえを見守る真剣な目と楽しさにあふれた表情、この姿にはおとなも子どもも変わりはない。とかく空港公害や飛行機の騒音反対が声を大にして各所で叫ばれている今日だが、同じヒコキでも模型となると問題は別である。大空を飛ぶ飛行機へのあこがれが純粹に発揮された数十年前の頃と大差ない気持が、今も模型飛行機ファンの心理を強くとらえているといえよう。

ところでこの模型飛行機だが、「ヒコキ野郎たち」

（昭和四五年、新潮社刊）という異色に富んだ文学作品集を出した変わりダネ作家の稲垣足穂がこの本の中で「明治四四年『科学世界』という雑誌を出していた大阪の柳原喜兵衛の後援があって、伊賀氏広（いが・うじひ

ろ、伊賀式双葉空中飛行機の発明家、画家で飛行家）は同誌に模型飛行機（傍点筆者）及び材料販売部を設けて青少年間に飛行機の昂揚をはかるかたわら、フランスのブレリオから返信と共に届けられた設計図とカタログにもとづいて第二段目に取りかかり、発動機製作を大阪の島津楢蔵に依頼した（後略）」と書いているくだりを読むと、すでに明治末、大正初期には模型ヒコキが当時の一部ヒコキ熱愛家たちの魂を奪い始めていたことがわかる。ちなみに稲垣はわが神戸市の出身作家で、神秘的で宇宙的なユニークな発想の文学性と風（ふう）変わりのエロティシズムの表現で著名だが、戦前からヒコキに関する文章が多い。というのは彼自身こどもの頃から大のヒコキ・ファンだったからで、単に好きだけでなく、みずからも飛行家たらんと、ころざしてはじめて自動車運転の免許状を取ったのち飛行家の試験を受けた

が、ざんねんにもからだに不適の点があり不合格となった。また、中学生時代から同じ飛行家志願の友人といっしょに飛行機を実際に組み立てて、神戸の中山手通り附近や西では須磨の妙法寺川のそばでその飛行機に乗って飛ぼうとしたりしたほどの熱の入れかただった。(結果は失敗に終わったが)。彼の友人の那須徳三郎(神一中)もヒコキ気遣いで模型飛行機製作に凝ったばかりか、ついには前記のようにホンモノの飛行機製作に稲垣と力を合わせて時間を忘れた。こんな経験を青春時代に持っている稲垣のことだから飛行機のことを書いても単なる文学作品ではなくて、なかなか専門的な智識のある文章だった。近年「ヒコキ野郎たち」が第一回日本文学大賞を受賞したのも、中におさめられている四篇中に日本飛行機のれいめい期の希望と不安に満ちた思い出話がいかにいいいきと活写されていることが大きな魅力となっていると思う。

話が少々横道にそれた感じがだが、とにかく明治末頃からすでに開港都市神戸には模型飛行機が登場していたことは忘れられてはなるまい。だが、この当時の模型飛行機はむろん機体をただ手で飛ばすだけのおよそ幼稚なものだったことも事実である。今日流行のエンジンを使った科学的なものとは比較にならぬ初歩的なものだった。それが戦中になってかなりの成長をとげたことは事実だが、まだまだ不完全なオモチャだった。だから正しい意味での模型飛行機の流行は戦後からといっても言い過ぎではあるまい。今日のUコン(Uコントロール、ワイアー操作の模型エンジン飛行機)やラジコン(ラジオ・コントロール、無線操縦じゅうによる模型エンジン飛行機)とは比べられぬ竹トシボに毛がはえた程度の飛行機である。模型飛行機の真の流行は戦後から始まった、といわれるのはこうした事情があるからである。さて、日本における戦後の流行の導火線の役目はアメリカ進駐軍のG・Iたちによってなされた。昭和二十一年頃各地の基地のキャンプ内では兵士たちが模型飛行機をしきりに飛ばし

ていた。筆者自身も神戸のウエスト・キャンプ(現在の多聞通りの南側)内で金あみ越しに時々この風景を見掛けたことがある。アメリカではすでに戦中から模型飛行機が兵士や一般愛好家の間で始められていたわけで、その先輩格の兵士たちがやがて日本人に教える結果となった。昭和二十四年となると日本人ファンの数もしだいに多くなり、各地で模型飛行機遊びが試みられるようになった。昨日までの大戦中のアメリカのB29爆撃機などが、本土各地を爆撃した時のあの恐怖も忘れ去って人々はヒコキを新しい目で見、新しい気持ちで迎えられる心の余裕が生じてきたのである。

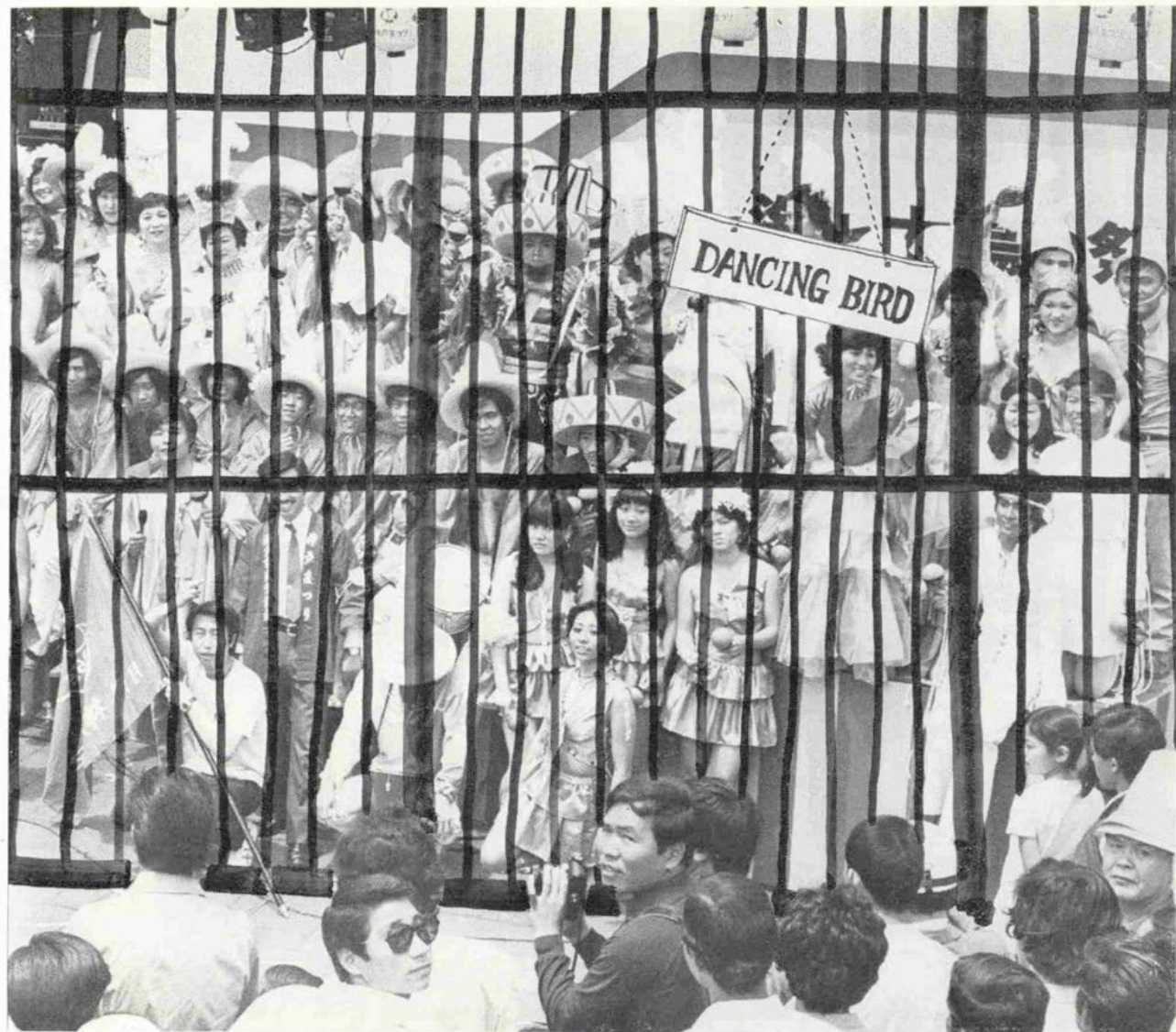
初めの頃はむろんUコン機が主だった。そのほとんどはアメリカ兵から手に入れたものや輸入品だったが、しだいに日本のメーカーによるものも作られるようになり、個人的なブレイのほかに何人かが集まって簡単な競技も行なわれるようになり始めた。さて、Uコン機の流行はアメリカと日本だけではなくて、外国ではまずヨーロッパでもやはり、イギリス、ドイツ、フランス、イタリア、ベルギーなどは、なかでも戦後盛んな国々だった。つづいてアジアでもしだいに流行し、ホンコンはじめタイワン、インドネシア、シンガポール、タイなどで盛んに行なわれ出した。このようにして模型飛行機遊びは世界中にひろまり始めたが、Uコン機にやや遅れて日本でもヨーロッパでもラジコン機が現われるようになった。

次号ではUコン機、ラジコン機の順に、それぞれのブレイぶりや競技種目、あるいは競技実態などについてしるすことにしたい。

(四七・五・二三記)

追記

初期の飛行機ファン・イナガキ・タルホの青春時代の活動については、拙著「青春と冒険」(昭和三四年・中外書房刊)を参照されたい。



コラージュコミックス

7

神戸まつり

岡田 淳



或る

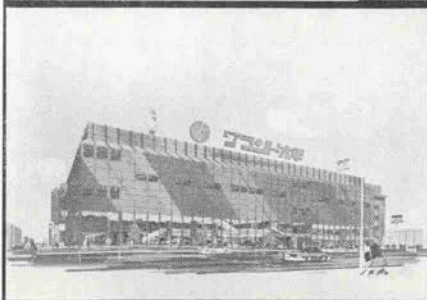
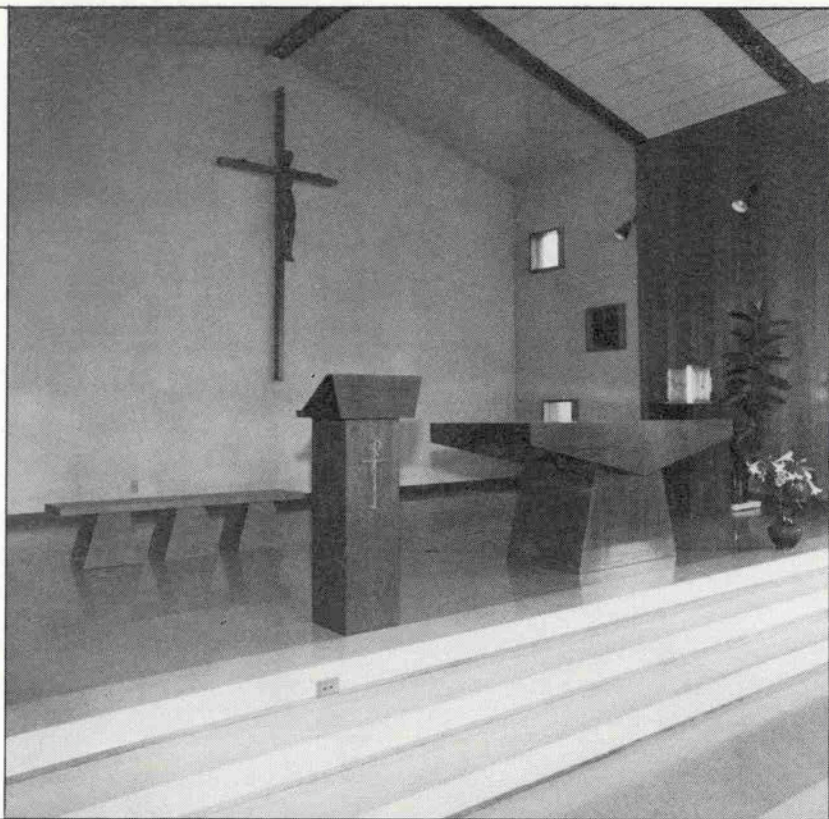
Perspective

「罪深き私に祭壇台を作る栄を与えて下さいましたイエス様に感謝しております……」

製作者談

池田カトリック教会

入船KK・家具・設計・施工



7月8日オープンの“グランド六甲ボウル”1F・2F
にカムバックオープンいたします。ボウリングをお楽し
みかたがた1Fショールームにもお立寄りくださいませ。
ミュージック・スタジオも近日開設いたします。

入船株式会社

神戸市灘区友田町5-2-2 ☎ 851-3191

CENTRAL HEATING LIFE

くらしをゆたかにする

ガスセントラルヒーティング

冬の備えは
この夏から



あらゆるセントラルヒーティングのご相談・ご予約は

●実績と経験と技術の

協和ガス住宅設備機器(KK)

●神戸本社

神戸市東灘区住吉東町4ノ7ノ16 Tel(078)851-9321

●大阪営業所

大阪市北区梅田町46 Tel(06)345-8560

美しく 楽しく ダイナミックに

踊る!!



Shoko Imaoka Modern Dance Institute

今岡頌子舞踊団

バレエ教室



児童・本科・一般・研究科



月・水・金・土曜日



住友銀行三宮ビル 6 F

センター街東入口

Tel 391-1518

佐本歯科

小児歯科・一般歯科

診察時間 (予約制)

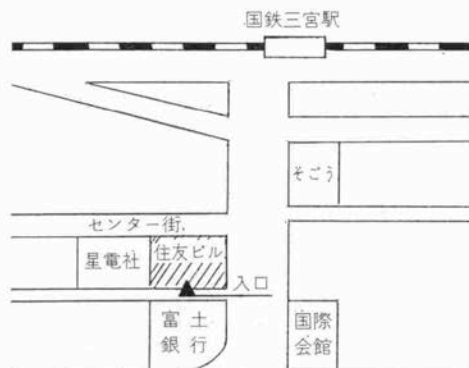
AM 9:00—PM 1:00 (受付 12:00まで)

PM 2:00—PM 6:00 (受付 5:00まで)

(土曜・木曜は午前中)

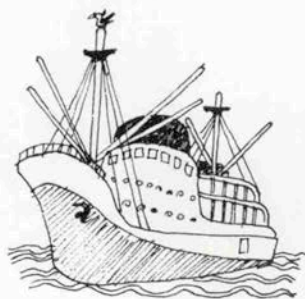
そごう前センター街東角・さんちか入口
住友銀行三宮ビル 6 階

TEL(078)331-6302~3



〒650 生田区加納町 5丁目39

★コウベ シップ クラブ 進水式



コウベ・シップ・クラブは海・船・港を愛する人々の集いです。

会員を募って、いがいに反響が多く100名を軽く突破しましたが七月の海の記念日を前に当クラブの進水式パーティを開きます。

7月進水式例会

●7月16日<日> 参加資格 当クラブ会員に限る。ポートターミナル入港中のオリエンタルファンタジア号上(予定)とき (未定)

会費 7月会費500円持参のこと

①陳舜臣キャプテンによる

当クラブ命名式及び進水式

②O.F.号のキャプテン及びスタッフとの交歓会

③当クラブ会員相互の交歓会

④堀郁子さんによる 海の歌

●8月例会 8月13日

コーラルプリンセス船上(予定)

事務局「月刊神戸っ子」パーサー
tel 221-7037 小泉美喜子

★神戸っ子劇場を はじめました



このたび、月刊神戸っ子では2ヶ月に一度日本のオリジナル(能・狂言・歌舞伎・文楽・邦舞・邦楽)などを中心にした芸能を企画主催して、より日本の伝統文化に親しんでいただくことになりました。よろしく願いたします。

「みやび」の会会員になって下さい。

この神戸っ子劇場を継続するために「みやび」の会をつくりました。会費は

入会金 1,000円

毎月額 1,000円

です。

グループでお申込み下さい。

みやびの会は神戸っ子劇場の母胎となる会で伝統文化を愛する人たちの集いです。神戸っ子劇場だけでなく会員同志の優雅な交歓のつどいにもなります。

係/神戸っ子・成広高史
tel 221-7037

★Kobekko Samba School



神戸まつりは年々盛大に賑やかになってきました。

月刊神戸っ子では、神戸まつりはサンバでいこうという旗印をかかげて毎年パレードのフィナーレを飾っています。

サンバのリズムをより楽しくマスターしていただくために、そして素晴らしいサンバチームを作るためにスクールを開きます。

勤めている方、重役さん、商店のご主人、そしてBG、学生、男女、年齢を問いません。サンバのリズムの学校に入學下さい。

校長先生は日本の打楽器の名手、古谷哲也のおじさんです。

入会金 1,000円

会費 1,000円

一学期は3ヶ月間 あとは研究科です。研究科3ヶ月でサンバチームのメンバーになれます。

係/神戸っ子・藤原保之
tel 221-7037